

(3) 就職委員会

① 設置の趣旨（目的）及び組織

ア 組織設置の趣旨（目的）

就職委員会は、学生の就職対策に関する事項について調査検討することを目的として、教授会に設置された専門委員会である。

イ 組織の構成及び構成員等

就職委員会は、各専攻・コース等から選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。以下同じ。）、学校教育実践研究センターから選出された教授又は准教授及び特命課長（就職支援担当）の計18人により構成されている。

② 運営・活動の状況

ア 委員会等の開催状況

令和2年度においては、委員会を4回（6月、9月、12月、3月）開催した（書面審議を含む）。

イ 審議された主な事項

主な審議事項は、①令和2年度就職研修（学部3年次研修を含む）実施計画、②教員採用試験における大学推薦特別選考応募のための自己確認の基準の策定、③令和2年度業務実績に係る自己点検・評価、④令和3年度就職指導計画、⑤令和3年度就職支援行事等であった。

ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

学生が大学推薦特別選考への応募を希望する場合、学生各自の自己確認の基準を策定する必要があることから、委員会にワーキンググループを設置し、当該基準を検討・策定した。

この基準を学生へ予め周知し、令和3年度実施の自治体別大学推薦特別選考の学内選考を実施することとした。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

教員採用試験対策講座等の就職支援プログラム、キャリアコーディネーターによる相談・指導、プレイスメントプラザ及び教員採用試験学習支援システムにおける就職情報の提供など、教員就職を中心とする就職支援の各種取組は大きな成果をあげている。

文部科学省が令和3年2月2日に発表した「国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）の令和2年3月卒業者の就職状況」において、本学学部卒業者の教員就職率（大学院等への進学者及び保育士への就職者を除く。）は80.0%で、全国44大学・学部中、第4位。また、同省が令和4年1月31日に発表した「令和3年3月卒業者の就職状況」においては同教員就職率87.9%と前年度と比べ7.9ポイント上昇し、全国1位となった。